

「水産業を守る」政策パッケージ

総額1007億円【300億円基金、500億円基金、予備費207億円】

- ALPS処理水の海洋放出以降の一部の国・地域の輸入規制強化等を踏まえ、科学的根拠に基づかない措置の即時撤廃を求めていくとともに、全国の水産業支援に万全を期すべく、既に用意した800億円の基金による支援や東電による賠償に加え、特定国・地域依存を分散するための緊急支援事業を創設（3、4①②）する。
- 具体的に、以下の5本柱の政策パッケージを策定し、早急に実行に移すとともに、必要に応じて機動的に予算の確保を行い、全国の水産業支援に万全を期す。

1. 国内消費拡大・生産持続対策

- ① 国内消費拡大に向けた国民運動の展開（ふるさと納税の活用等）
- ② 産地段階における一時買取・保管や漁業者団体・加工/流通業者等による販路拡大等への支援（300億円基金の活用）
- ③ 国内生産持続対策（相談窓口の設置、漁業者・加工/流通業者等への資金繰り支援、出荷できない養殖水産物の出荷調整への支援、新たな魚種開拓等支援、燃油コスト削減取組支援）（300億円基金、500億円基金の活用等）等

3. 輸出先の転換対策

- ① 輸出減が顕著な品目（ほたて等）の一時買取・保管支援や海外も含めた新規の販路開拓を支援【予備費】
- ② ビジスマッチングや、飲食店フェアによる海外市場開拓、ブランディング支援【予備費】 等

5. 迅速かつ丁寧な賠償

一部の国・地域の措置を受け輸出に係る被害が生じた国内事業者には、東京電力が丁寧に賠償を実行

（注）今回の予備費による措置は、単年度事業として対応。

2. 風評影響に対する内外での対応

- ① 一部の国・地域の科学的根拠に基づかない措置の即時撤廃の働きかけ
- ② 国内外に向けた科学的根拠に基づく透明性の高い情報発信、誤情報・偽情報への対応強化
- ③ 販売促進・消費拡大に向けた働きかけやイベント実施、観光需要創出、小売業界の取引継続に向けた環境整備等

4. 国内加工体制の強化対策

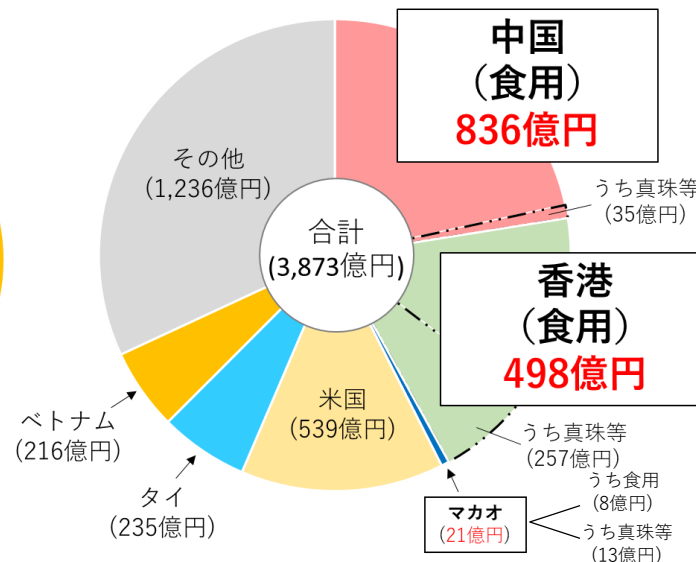
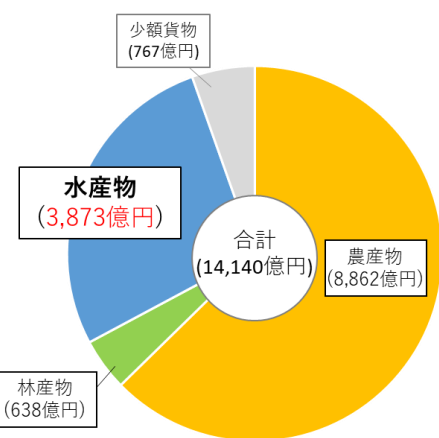
- ① 既存の加工場のフル活用に向けた人材活用等の支援【予備費】
- ② 国内の加工能力強化に向けた、加工/流通業者が行う機器の導入等の支援【予備費】
- ③ 輸出先国等が定めるHACCP等の要件に適合する施設や機器の整備や認定手続を支援（既存予算の活用）

(参考) ALPS処理水の海洋放出に伴う輸入規制強化の現状

- 中国** 8月24日以降、原産地が日本である水産物の輸入を全面的に暫定的に停止。
- 香港** 8月24日以降、10都県の以下の製品について輸入禁止。
 - ①水産物（生きている、冷凍、冷蔵、乾燥、またはその他の方法で保存されたすべての水産物）、
 - ②海塩、③海藻（加工品を含む）

※10都県：福島、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、長野、新潟
- マカオ** 8月24日以降、10都県の以下の製品について輸入禁止。
 - ①生鮮食品、②動物性食品、③海塩、④海藻

農林水産物輸出額内訳(2022年) 国別水産物輸出額内訳(2022年)



2022年輸出額 (億円)

中国向け水産物		香港向け水産物		マカオ向け水産物	
主な魚種	輸出額	主な魚種	輸出額	主な魚種	輸出額
ほたてがい	489	ほたてがい	142	なまこ	1.3
なまこ	98	なまこ	94	まぐろ	1.1
まぐろ	40	うに	24	うに	0.7
すけそうだら	20	まぐろ	24	ほたてがい	0.4
さけ・ます	18	ぶり	21	えび	0.2
合計	836	合計	498	合計	8

(参考) 主要な輸出水産物の輸出依存度

- 主要な輸出品目のうち、ホタテガイ及びナマコは特に中国・香港向けの輸出依存度が高い。

中国・香港向け輸出量が国内生産量に占める割合

	国内生産量	輸出量 (原魚換算)	うち中国・香港向け
ホタテガイ	51.2万トン	29.1万トン (57%)	<u>17.9万トン (35%)</u>
ナマコ	5.1千トン	4.1千トン (81%)	<u>3.7千トン (73%)</u>
ブリ	22.9万トン	4.1万トン (18%)	0.5万トン (2%)
マグロ (養殖クロマグロ)	2.0万トン	0.4万トン (21%)	0.2万トン (9%)

※ 輸出量（原魚換算）は、歩留りから推定

(参考) ホタテガイ及びナマコの中国・香港への輸出実態

国内生産量：
約50万トン(2022年)

輸出量（原貝換算）：
約30万トン(2022年)

ホ
タ
テ
ガ
イ

生産県	生産量 (万トン)
北海道	42.5
青森	7.8
宮城	0.7
岩手	0.2
全国計	51.2

輸出先国	輸出量（万トン） 原貝換算
中国	合計 14.3
	冷凍殻付き 9.6
	その他 4.7
香港	3.6
その他	11.1
世界計	29.1

冷凍両貝の一部は、
中国でむき身加工後
米国向けに輸出
(約3～4万トンと推定)

国内生産量：
約5,000トン(2022年)

輸出量（原魚換算）：
約4,000トン(2022年)

ナ
マ
コ

生産県	生産量 (百トン)
北海道	1.5
青森	0.7
山口	0.5
その他	2.4
全国計	5.1

輸出先国	輸出量（千トン） 原魚換算
中国	1.9
香港	1.8
その他	0.4
世界計	4.1